

令和7年度

高規格救急自動車仕様書

井手町

高規格救急自動車仕様書

第1章 総則

- 1 本仕様書は、井手町が令和7年度に購入する高規格救急自動車（以下「救急車」という。）について必要な事項を定める。
- 2 救急車は、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準に適合し、緊急自動車として承認を得られたものであるほか、救急業務実施基準（昭和39年自消甲教発第6号通知）を遵守しなければならない。
- 3 救急車には、必要な資機材、取付け品及び付属品等を装備するほか、この仕様書を十分に満足するよう艤装しなければならない。
- 4 救急車の製作は、この仕様書に基づくほか、装備品及び付属品は、すべて新製品とし、検定、認定及び許可を必要とするものは、それに合格したものとする。
- 5 救急車は、次に掲げる部分により構成するものとする。
 - （1）車両本体
 - （2）取付け品
 - （3）積載品
 - （4）付属品
- 6 受注者は、この仕様書を十分に検討のうえ契約するものとし、契約後における一切の疑義は、すべて井手町の解釈に従い、井手町の指示に従うものとする。
- 7 この仕様書の細部事項及び製作中に生じた疑義については、すべて井手町と協議のうえ指示、又は承認を受けなければならない。
- 8 製作前に提出する書類は次のとおりとする。

（1）製作承認図（4図面）	4部
（2）シャーシ関係図書（シャーシ諸元 エンジン諸元）	4部
（3）器材積載要領図	4部
（4）電気系統図及び配線図	4部
（5）製作工程表	4部
（6）艤装図面	4部
（7）その他（井手町が指示する書類）	4部
（8）入札金額内訳書	4部
（9）その他井手町の要求する書類	

- 9 救急車に使用するシャーシ等は、製造者が令和7年度に公表した諸元及び性能に合致するものであること。
- 10 完成車納入時の提出書類は、次のとおりとする。
- | | |
|------------------------------|-----|
| (1) 完成図面 | 3 部 |
| (2) 完成車写真 | |
| (製作工程時に日付入り写真を撮影し、電子媒体化したもの) | 2 部 |
| (3) 積載装備品等一覧表 | 2 部 |
| (4) 自動車取扱説明書 | 1 部 |
| (5) 自動車整備解説書 | 1 部 |
| (6) オプション品取扱説明書 | 1 部 |
| (7) 積載品取扱説明書 | 1 部 |
| (8) 保証期間一覧表(装備品及び付属品) | 2 部 |
| (9) その他井手町が要求する書類 | |
- 11 完成車両の保証期間は納入後1年とし、その装備品及び付属品については、各メーカーで定める期間とする。但し、艤装及び設計等に起因する故障等の不具合が生じた場合には、経過年数にかかわらず受注者の責任において無償で修復等を行わなければならない。
- また、車両整備上、必要な部品は納入後10年以上確保するとともに、適正かつ迅速に供給できる体制を維持すること。
- 12 製作及び納入にあつては、次の検査を受けるものとする。また、検査に要する一切の器具等及び費用は受注者が準備し負担するものとする。
- (1) 中間検査
- 受注者は、車両の製作中にこの仕様書に基づいて検査を受けるものとする。
- 検査時期は、車両内部艤装の枠組みの完成時期に井手町担当者立会いのもと製作会社において実施する。
- (2) 完成検査
- 受注者は、救急車が完成すれば、すべての医療用具、医薬品及び付属品等(以下「高度救命処置用資機材」という)を速やかに積載し、完成検査を受けるものとする。その際、不相当と認められた事項については、受注者が速やかに無償で修正、調整及び取り替えを行い、再検査を受けるものとする。
- 検査場所は、井手町担当者立会いのもと別途指示する場所とする。
- 13 検査・新規登録に関する手続き及び検査・登録の回送等に関する諸経費及びリサイクル制度諸費用等は受注者が負担する。また、自動車損害賠償責任保険料(25ヶ月)及び自動車重量税も受注者が負担する。(入札金額に含む。)

14 納期に関わる事項は、次のとおりとする。

(1) 納入場所は、京田辺市消防署井手分署とする。

(2) 納入期限は、令和8年3月16日(月)までとする。

※ただし、大規模災害等の影響で納期が遅れるおそれが発生した場合は、井手町と協議すること。

15 受注者は、納入後に井手町の指定する日程で納入車両を使用し、取扱い訓練、点検整備、実技訓練及び維持管理についての講習会を井手消防分署員が十分習熟できるよう必要に応じて複数回(2日間以上)行うこと。なお、全てに係る講習会等の費用は受注者が負担する。

16 新規車両納入後に、井手消防分署に現在配備されている高規格救急自動車(京都830す11-99)の一時抹消登録及び緊急自動車届出の取り消し手続きを行い、井手町まで廃車証明書類を提出し、車体の名称表示を確実に消去するとともに、赤色灯、サイレンの撤去を行うこと。また、重量税の還付金及び自賠責保険料の払戻金の手続きは受注者が行うこと。なお、一時抹消登録等の全てに係る費用は、受注者が負担するものとする。

17 その他

(1) この仕様書の記載事項で疑義、又は仕様に変更が生じたときは、速やかに井手町と協議するものとする。

なお、協議後に仕様等の変更があれば、すべて文書をもって処理するものとする。

(2) この仕様書に記載されていない事項であっても、取扱い上必要なときは、別途協議し、艤装する上で当然すべきことは艤装業者で責任をもって実施すること。

(3) 運転室及び患者室のレイアウトについて製作実績から参考になるものは井手町に提示し十分に協議のうえ製作にあたるものとする。

(4) この仕様書に明記されていない点は、メーカー公表の標準とする。

(5) 同等品以上を使用する場合は、井手町の承認を受けるものとし、同等品以上の解釈は井手町の判断によるものとする。

第2章 車両仕様

1 車体本体

乗車定員7名以上で、車体構造は、メーカーの標準自動車を一部改造及び艤装するもので、その構造は振動、衝撃等を十分に緩衝できるボディとし、あらゆる走行条件に対し安全かつ安定性を持つもので、運転席から患者室へ容易に往来できる構造であること。

2 主要諸元

- (1) 車名：「高規格救急自動車」4輪駆動車
- (2) 型式：寒冷地仕様車（関係オプションを含む）とし、消防庁が認定した高規格救急自動車であること。
- (3) 全長：5,700 mm以内（諸元表寸法値）
- (4) 全幅：1,900 mm以内（諸元表寸法値）
- (5) 全高：2,600 mm以内（諸元表寸法値）
- (6) 総排気量：2400cc～3500cc
- (7) エンジン型式名称：ガソリンエンジン
- (8) 最高馬力：各主要諸元による馬力とする。
- (9) トランスミッション：オートマチックミッション
- (10) ステアリング：パワーステアリング
- (11) タイヤ：メーカー指定の日本国産メーカーラジアルタイヤ又は日本国産メーカースタッドレスタイヤ（純正アルミホイール付）を取り付けること。
- (12) 参考車種
 - トヨタ 高規格救急車（4WD） ハイメディック
 - ニッサン 高規格救急車（4WD） パラメディック

3 車両の各部

(1) 座席

患者室左側スライドドア付近に隊員席（1座席）を設け、進行方向に向かって腰を掛けられる構造とし、背当を設けること。その後方に横向き2～3人掛けシートを設け、シート下部は収納が可能な構造とすること。また、患者頭部側に後ろ向き1人掛け（跳ね上げ式）のキャプテン用シートを設けること。

(2) フロントドア

窓ガラスは、パワーウインドーとすること。

(3) スライドドア

スライドドアウインドーは、下方2/3を曇りガラスとすること。

(4) シートベルト

運転席及び隊長席のシートベルトは、3点支持巻き取り式とするとともに患者室内の隊員席には3点支持巻き取り式を、キャプテン用シート及び後方横向き2～3人掛けシートには2点又は3点支持巻き取り式のものを取り付けること。

(5) カーテン

患者室内左側にサイドウインドーカーテンを取り付けること。また、患者室内後部にリアウインドーカーテンを取り付けること。

なお、リアウインドーカーテンは電動とし、運転席から容易に操作できるものであること。

(6) バックドアガラス

熱線入りとし、全面を曇りガラスとすること。(ブラインド型車両搭載情報板の表示が確認できること)

(7) 左窓ガラス

患者室内左窓は、全面を曇りガラスとすること。

(8) 右窓ガラス

患者室右窓ガラスに白色フィルムを貼付すること (患者室右窓全面)

(9) 後写鏡 (ルームミラー)

ルームミラーは、通常の運転席のものとは別に隊長席から後方が確認できるものを取り付けること。

(10) アウトサイドミラー

通常の運転席のものとは別に隊長席から後方を確認するためのミラーを取り付けること。

(11) 電気装置

ア バッテリー

(ア) 標準装備品とし、容易に点検できる位置に取り付けること。

(イ) 外部AC100V電源入力コンセントを投入すると自動的に車両バッテリーを充電する充電器を車両内に固定積載すること。

(ウ) 車体後部右側の位置に外部電力入力 AC100V 用コンセント 1 箇所 (マグネット式) を設けること。

(エ) コネクタ接続コード (10m) を付属すること。

イ オルタネーター

標準装備すること。

ウ インバーター

(ア) インバーター商用電源切替え装置を標準の位置に設けること。

(イ) 300W 正弦波とすること。

(ウ) 切り替えスイッチ、又は自動で外部電源使用可能とすること。

(エ) 外部電源入力中はエンジンスタートが出来ない構造とし、誤ってエンジンを作動させようとした際は、警報装置により知らせることができるものであること。

(オ) 電源コンセント (DC/AC) は積載装備品に対し必要数設置すること。

なお、最終的な取付け位置及び設置数は協議し決定すること。

エ 灯火装置

(ア) ヘッドランプ

LED ヘッドランプ (ロービーム) オートレベリング機能付きとすること。

- (イ) サイドフラッシャーランプ
車体左右に各 1 個、運転に支障のない位置に取り付けること。
- (ウ) 路肩灯 (LED)
車両の両サイド下部に路肩灯を取り付け、運転席に解除スイッチを設けること。
- (エ) マップランプ
隊長席フロントピラー上部にスイッチ付照明灯を固定装置で取り付けること。また、隊長席及び患者室前向きシート上部に LED 灯を取り付けること。
- (オ) 室内灯
患者室天井に LED 室内灯 (調光機能付) を設け、患者灯を設置すること。
- (カ) LED 作業灯
ルーフサイドに LED 作業灯を前後左右 4 灯取り付け、運転席に ON/OFF スwitchを設けること。
- (キ) コーナーセンサー
前後バンパー左右にコーナーセンサーを取り付け、運転席に ON/OFF スwitchを設けること。
- (ク) LED 赤色灯
バックドア開放時追突防止措置として、患者室キャビネット後方に LED 赤色灯を左右各 1 灯設けること。なお、スイッチはそれぞれ取付けること。
- (12) 電流計及び電圧計
運転席の見やすい位置に取り付けること。
- (13) 保安部品等
 - ア 赤色停止非常灯
後部ドアを開放したとき、赤色非常灯が点滅する構造とすること。
なお、後部内側に後部ドア閉時の専用グリップを設けること。
 - イ 音声式後退アラーム
音声式の警報器を取り付け、運転席に解除スイッチを設けること。
 - ウ 盗難防止装置
運転席付近の外部から容易に見通せない位置に取り付けること。
- (14) 取り付け品
 - ア ショックアブソーバー
車体の揺れ軽減を考慮すること。考慮できない場合は指定するコンフォートショックアブソーバーを取り付けること。
 - イ サンバイザー
運転席及び隊長席に各 1 個取り付けること。
 - ウ サイドバイザー
運転席及び隊長席に各 1 個取り付けること。
 - エ 電波時計 (デジタル)
患者室に取り付けること。

- オ 棒状手すりパイプ・アシストグリップ
患者室天井に棒状手すりパイプ2本（前後）、患者室右側面にアシストグリップ2個を取り付けることを考慮すること。
- カ 患者室コンセント
AC及びDC用のコンセントを取り付けること。
なお、取り付け位置及び個数については、別途指示する。
- キ 消防記章（φ150mm）
グリルパネルの中央部に取り付けること。
- ク 点滴ビン固定フック
患者室天井後部及び右側面上部に点滴ビン各2本分の固定フックを取り付けることを考慮すること。
- ケ フロントドア及びサイドステップに滑り止め（アルミ製縞板取り付け）の措置を講ずること。また、どちらもセーフティウオークを貼り付けること。
- コ リアバンパーに傷つき防止板（アルミ製縞板取り付け）の措置を講ずること。
また、リアステップにセーフティウオーク（黄色）の貼り付けを考慮すること。
- サ フロントドアステップ保護板
樹脂製板（ホイールハウスと曲率を合わせたもの）をホイールハウスにビス止めするか、又は専用保護シートを貼り付けること。
- シ 運転者用フレキシブルマイク
スイッチ付を運転席上部に取り付けること。
- ス エアコン
標準装備とする。
- セ 旗立て
車体左側上部に取り付けること。
- ソ ホワイトボード
患者室内に取り付けること。また、マーカー等の必要物品を備えておくこと。
- タ スクープストレッチャーブラケット
スクープストレッチャーの固定ブラケットを取り付けること。
- チ 無線機及び車両動態位置管理装置取り付けブラケット
運転席中央部等の取り付け可能位置（運転及び運用に支障がないよう）に取り付けること。（取り付け位置は井手町が指定する無線取扱業者と協議）なお、車両動態位置管理装置の本体収納庫を隊長席後部に設置すること。（設置場所は井手町が指定する無線業者と協議）
- ツ 網棚
天井中央部の前方及び後方に2箇所取り付けること。
- テ バックボード（ロングボード）ブラケット
患者室内に固定ブラケットを取り付けること。
- ト バックアイカメラ及びバックアイモニター
運転中に、後方の状況を確認するためのカメラを車両後方上部に取り付

け、そのカメラで撮った画像を映し出すカラーモニターを運転席から容易に見ることが可能な位置に取り付けること。

なお、リアのアンダーミラーは取り外すこと。

ナ ETCに係る一式を装備すること。(セットアップを含む)

ニ カーナビゲーションシステム

全国版のSDカーナビゲーションシステムを搭載すること。

ヌ 視認しにくい車両周囲をモニターで確認できる機能の搭載を考慮すること。

ネ ドライブレコーダー(アサヒリサーチ株式会社 Driveman PS-2タイプ2SD脱着モデル シガーソケットアダプタ対応としバッテリーメインスイッチ連動で録画開始できるようにする)を設置し、ドライブレコーダー用SDカード(国産メーカーSDXC64GB)を2枚付属すること。またドライブレコーダーが作動していることを外部から確認できるように明記すること(記入文字はゴシック体、明記は2カ所)なお、取り付け場所は事前に井手町と協議すること。

ノ ティッシュボックスホルダー及びペーパータオルホルダー
患者室内に必要数設けること。

ハ 地図入れ

運転席付近に取り付けること。

ヒ ドアエッジモール

運転席側と隊長席側に取り付けること。

フ C型バネ付フック

運転席側と隊長席側にそれぞれ取り付けること。

取り付け位置、個数については制作前に協議すること。

4 塗装及び明示等

(1) 塗装

車両の塗装は、救急車として緊急自動車の届出を受けられる塗装色とし、車両周囲に赤帯ラインを施すこと。赤帯ラインの下方に黄帯ラインも施し、サイド及びバックドアの赤色ライン及び黄色ラインは反射テープ(再帰性に富んだ反射板)とすること。

(2) 文字表示等

車体文字表示の方法は、井手町において稼動している救急車と同程度の大きさ及び文字体系として、バランスの取れた表示を行うこと。

なお、詳細については協議し別途指示(若干の変更を含む)する。

ア 「京田辺市消防本部 井手分署」を青色カッティングシート(再帰性に富んだ反射板)で作製し、車体両サイドに貼り付け表示すること。

イ 「KYOTANABE CITY FIRE DEPARTMENT」を青色カッティングシート(再帰性に富んだ反射板)で作製し、屋根両サイドに貼り付け表示すること。

ウ バックドア上部に「IDE」を青色カッティングシート(再帰性に富んだ反射

板)で作成し、貼り付け表示すること。

エ スターオブライフマークを青色カッティングシート(再帰性に富んだ反射板)で作製し、車体両フロントドア部に貼り付け表示すること。

オ その他井手町が指定する文字及び表示を含め対空表示「京都 井手 救急1」を黒色カッティングシートで作製し表示すること。

また、車両前方フロントパネルの左側及びリアハッチドア右側下方に「井手救急1」を赤色カッティングシートで作製し表示すること。

カ 「25A井手」を赤色カッティングシートで作製し、運転席及び助手席ドア外側に貼り付け表示すること。※「25A井手」の25は購入年度

(3) 明示

ア スイッチ類には名称及び「入・切」又は「ON・OFF」等の表示をすること。

イ 計器類には、名称を表示すること。

ウ 燃料給油口又はその付近には、使用燃料の種類を表示すること。

5 床面の防水処理

患者室を水洗い可能な床面とすること。また、床面と積載装備品等とのコーナーにシーリングを施すこと。

6 積載装備品等

(1) 無線装置等

ア 受注者は、井手町が指定する無線機取り付け業者と十分に協議し、無線装置に不備がないよう実施しなければならない。

イ 無線機及びハンドセットは井手町既存の救急車設置のものを載せ替えし、配線及び空中線等は新品を使用、配線は優美に仕上げること。

ウ 無線機は、井手町既存の救急車に積載している無線機を載せ替え、運転席中央部等の取り付け可能位置に設置し、患者室にも送受話器を設置すること。

エ アンテナから無線機本体及び患者室の送受話器に配線をすること。

オ 雑音防止にアースボンディング、ノイズフィルターを設置すること。

カ デジタル無線アンテナをルーフトップに設置し、無線機本体まで配線すること。

キ 運転室内及び患者室に無線モニター用スピーカーを設置するとともにスピーカー脇に遮断スイッチを設けること。

ク 無線装置の設置に関する配線一式(アンテナを含む)の取り付けを行うこと。

ケ 無線機の電源は、DCコンバーターを介し、バッテリーより配線すること。

コ その他の無線事項に関することは、別途協議すること。

サ 無線装置の設置及び登録並びに申請に係る一切の費用は、受注者の負担とする。

(2) 車両動態位置管理装置

井手町既存の救急車に積載している車両動態位置管理装置を載せ替え、運転席と助手席の間、運転に支障のない中央部等の取り付け可能位置に設置(井手町

が指定する車両動態位置管理装置取り扱い業者と十分に協議し実施)すること。
なお載せ替えに係る一切の費用は、受注者の負担とする。

(3) ブラインド型車両搭載情報板 (以下情報板という)

(株式会社アイテックス製、BTS-48-SWR-256-3-LTL-1102-FS)

ア 受注者は、株式会社アイテックスと連絡を密にとり、情報板設置に不備がないよう努力しなければならない。

イ バックドアガラスに自在取り付け金具を設置し、情報板を設置すること。

ウ コントローラーは井手町と協議の上、優美に設置すること。

エ 情報版の設置に関する配線一式 (表示電源制御部を含む) の取り付けを行うこと。

オ 情報板一式の設置に係る一切の費用は、受注者の負担とする。

(4) サイレン用アンプ (大阪サイレン製、Mark-D1)

運転席に専用のコンソールボックスを作製し、取り付けること。

(5) 赤色灯 (LED 式)

標準の赤色灯のほかに、前部バンパー上部付近に赤色フラッシュライト (大阪サイレン社製 LFA-100) を2箇所取り付けること。

なお、全ての赤色灯及び赤色フラッシュライトは、1個の点滅スイッチにより点灯する電源回路を取ることとし、点灯時の確認ランプ (赤色) を点滅スイッチ付近に設けること。

(6) 電子サイレン

音声合成装置 (試験減音装置付) とすること。

なお、スピーカーは最高出力 50W以上とし、広報マイクは音声合成装置付マイクロホンを取り付ける (右・左・現場出場等) こと。また、ウーウ音 (別途協議) の切替えスイッチを運転席右側及び中央部に各々設け、ピーポー音が途切れることなくウーウ音が鳴動する構造とすること。

(7) ストレッチャー架台

次の機能を有するものとする。

ア ストレッチャー本体の重量及び耐荷重に耐えうる架台であること。

イ ストレッチャー搬出時に脱落を防止するロック機能を有すること。

ウ ストレッチャー本体のボタン操作により、ストレッチャーと架台とのロック解除が可能であること。

エ ストレッチャー搬出入の際、ストレッチャーが正しくセットされていることを操作者が確認できるよう LED で表示する機能を有すること。

オ 車両収容時、架台からストレッチャーのバッテリーへの非接触で充電を行う機能を有すること。

カ 車内での活動を阻害しないよう、架台はセンターレール方式でありストレッチャー下部にも足が入る構造であること。

(8) メインストレッチャー

次の機能を有するものとする。

ア 日本ストライカー社製 Power Pro 2 とすること。

- イ モーターと油圧を活用した電動油圧昇降システムを備えた電動式ストレッチャーであること。
 - ウ ストレッチャー本体のボタン操作で無段階に昇降位置を設定できること。
 - エ 人為的なエラーを減らすため、操作部が識別されていること。
 - オ バッテリーにより稼働できるものとし、バッテリーが切れた場合にも全ての動作が手動で操作できる構造であること。
 - カ バッテリーはリチウムイオンで残量表示機能を有すること。
 - キ バッテリーの着脱はワンタッチで行えること。
 - ク ストレッチャーは迅速に車両への搬出入できるものとし、搬出入時に1つのボタン操作で4輪を同時に収納・展開できる機能を有すること。
 - ケ ストレッチャー長を153cmまで短縮できる構造であること。
 - コ ストレッチャー長を213cmまで拡張できる構造であること。
 - サ 車輪は頭側・足側の両方から方向固定及びブレーキの操作ができる構造であること。
 - シ 最低位、最高位、車内収容位以外に、ストレッチャー曳航時の推奨高が設定されており、統一したストレッチャー高で運用できる機能を有すること。
 - ス 傷病者の搬送を低位置で行うことを支援する搬送用ハンドルを有すること。
 - セ ストレッチャーは膝上げ、足上げの両方が可能な構造であること。
 - ソ 暗い場所でも視認性を高めるライトと反射板を有すること。
 - タ 製造メーカーによる追加保証をすること。
- (9) 医療用酸素器具
- ア 10 リットル酸素ボンベ 2 本を医療器具収納スペースに専用固定器具で設置できるよう施し、同ボンベ上部等に救急車用減圧器及び圧力計並びに三方チー
ズ、加湿流量計（15リットル／分型）を装備できるように講じておくこと。
 - イ 専用パイプを介して患者室右側上の加湿流量計に接続できる構造とし、圧力
計の指針が患者室内から見通せるように講ずること。また、酸素吸入装置用配
管及びマスクの収納庫を患者室右側面に設置すること。
 - ウ 酸素ボンベから加湿流量計までの配管は、十分な強度及び耐久性を有し、内
張り内に体裁よく裏配管を敷設し納めること。また、三方チーズ及び加湿流量
計を艤装工程で取り付けられるよう講じておくこと。
 - エ 酸素ボンベの収納スペースは開放できる構造とし、ボンベハンドルの台座を
取り付けること。
- (10) 自動車用粉末消火器（標準装備）
- 車内に、薬剤重量 1.8kg 型自動車用粉末消火器の専用金具を設けて取り付ける
こと。（設置場所別途指示）
- (11) 換気扇（標準装備）
- (12) 冷温蔵庫
- 内容積 13ℓを取り付け、冷温蔵庫 DC12V 出力コンセントを設けること。
- (13) 資機材庫
- ア 資機材庫は、車両標準品に加えて必要とする資機材庫を患者室内等に取り付

けること（別途指示）。

なお、資機材庫の扉及び引き出し等は車両の走行中の振動、又は内容物の移動等によって開放することのない構造とするほか、必要に応じて固定装置を取り付けること。

イ 資機材庫の内部は、積載品等を固定するための装置及び緩衝材等を取り付けること。

(14) 書類箱

運転席と隊長席の間に A 3 書類が収納できる大きさのものと患者頭側シート横に書籍入れを設置し運転室書類入れには小物収納庫を取り付けること。

(15) レスキューセット

600mm バール、万能斧、シートベルトカッター、ガラスカッター等を協議し積載可能な場所に積み込むこと。

(16) リモコン式キーレスエントリーキー等

予備キーを含めて 3 本用意すること。

(17) 固定フック

患者室側面に心電図誘導コードを固定するフックを 5 箇所取り付けること。

なお、位置については別途指示する。

(18) 手洗い装置収納庫改善

救急車標準装置の手洗い装置を収納庫に改善し、収納庫上部面はステンレス製のトレイを敷くとともに、付近に手動式手指消毒ボトル（1ℓ）収納庫を設置すること。

(19) サポートグリップ

バックドア開口部左側に乗降時サポートグリップ（長タイプ）を設置すること。

7 取り付け器具等

次に掲げる器具等を固定金具で取り付け可能となるような措置を講ずること。

なお、取り付け器具及び取り付け方法は、別途協議する。

(1) 患者監視装置 日本光電製（BSM 3 0 0 0 シリーズ、最新型）

(2) 半自動式除細動器 日本光電製（TEC シリーズ、最新型）

(3) 医療用酸素器具

(4) 電動式吸引器 (アキュバック・プロ D)

(5) 人工呼吸器 (ANSWER)

(6) バックボード (ハイテクバックボードモデル 2010)

(7) スクープストレッチャー (スkoop 6 5 exl ピン付き)

(8) デジタル時計

(9) ベンチサポートアーム

(10) 吸引カテーテル保持パイプ

(11) 吸引カテーテル予備収納袋

(12) オゾン発生装置 BT-03S

(13) LUCAS 3 心臓マッサージシステム取り付けベルト（収容庫に収容）

8 付属品及び積載品

- (1) スペアタイヤ
- (2) 整備用標準工具
- (3) 非常用信号
- (4) フロアマット
- (5) 停止表示板
- (6) ネット型タイヤチェーン
- (7) 訓練旗一式
- (8) マリンポーチ
- (9) メーカー指定の日本国産メーカーラジアルタイヤ又は日本国産メーカースタッドレスタイヤ（純正アルミホイール付）
- (10) 汚物入れ（メーカー標準品）

9 その他

艀装は、あらゆる想定を考へて製作に取り組み、救急業務が運用しやすい構造とし、各部については強化対策を考へて製作すること。

第3章 高度救命処置用資機材

- 1 井手町が令和7年度に整備する高規格救急自動車に積載する高度救命処置用資機材（以下「資機材」という。）の納入等について、必要な事項を定める。
- 2 受注者は、仕様書の記載事項で疑義又は仕様に変更が生じた場合は、速やかに井手町と協議するものとする。
なお、協議後に仕様書に変更があれば、全て文書をもって処理するものとする。
- 3 受注者は、高度管理医療機器等販売業許可及びその他の製品の納入に必要な許可を有していること。
- 4 納入する資機材は、全て新品とし、資機材の保証期間は納入後1年、又はメーカーで定める期間とする。
- 5 保証期間内において、井手町の過失、或いは通常の場合を除き当該物品の損傷が発見された時には、受注者の責任において無償で取り替えるものとする。また、保証期間経過後でも製作不良あるいは材質不良等に起因する不都合が発見された場合には、無償で取替え又は修理を行うものとする。

1 気道確保用資機材

No.	品 名	数 量	備 考
1	マギール紺子（大、小）	各1本	
2	オプティマLED喉頭鏡（スモールハンドル、ソフトケース付き、マッキントッシュ型プレート 1・2・3・4）	1式	
3	エアウェイスコープ喉頭鏡 AWS-S200NK	1台	
4	薄型 AWS イントロック NK M-ITL-TL(10本入)	1箱	

2 血中酸素飽和度測定器

No.	品 名	数 量	備 考
1	ベットサイドモニター ライフスコープ VS BSM-3562	1式	
2	フィンガープローブ（成人）	2本	
3	マルチプローブ	1本	
4	CO2 センサーキット	1個	
5	心電図誘導コード（10電極） BJ-900P	1本	
6	パルスオキシメータ Rad-G	1式	
7	パルスオキシ・カプノメータ CMS50D-BLU	1個	
8	フレックスポートリユーザブルカフ成人用(中)チューブ無	2個	
9	フレックスポートリユーザブルカフ成人用(大)チューブ無	1個	

10	フレックスポートリユーズブルカフ大腿部用チューブ無	1 個	
11	フレックスポートリユーズブルカフ小児用(中)チューブ無	1 個	
12	フレックスポートリユーズブルカフ乳幼児用チューブ無	1 個	
13	フレックスポートチューブ 203mm(10 本入)	1 箱	
14	ロッキングコネクタオス(10 個入)	1 箱	
15	フレックスポートフィッティング 1 チューブ用(10 個入)	1 箱	

3 呼吸・循環管理用資機材

No.	品 名	数 量	備 考
1	半自動除細動器 TEC-2603 リチウムイオンバッテリー SV220V CO2 センサーキット ME2014-078 フィンガープローブ SD メモリーカード ME-2014-303	1 式 3 個 1 個 1 個 2 個	
2	人工呼吸器 ANSWER	1 式	
3	減圧弁 FLW2	1 個	携帯用
4	減圧弁 SA ヨーク型	2 個	車載
5	加湿流量計オキシパック OX-III S (川重型×1 個付)	1 式	
6	携帯用電動吸引器(アキュバック・プロ D) 専用 AC 電源 (吸引ジョイント、吸引ホース、吸引ボトルの予備) 吸引バック(32 個入) 吸引チューブ(32 本入)	1 式 1 箱 1 箱	
7	アンブ蘇生バッグ マークⅣ (成人用、ベビー用)	1 式	
8	ガスサプライバルブ(#301 J 用接続アダプタ 26mm×31mm)	1 式	
9	LUCAS3 心臓マッサージシステム LUCAS3 用バッテリー LUCAS3 AC 電源アダプタ LUCAS3 用バッテリー充電器 LUCAS3 用バックプレートグリップテープ (6 枚入り) LUCAS3 用ディスポーザブル吸着カップ(3 個入り) LUCAS3 用安定用ストラップ	1 式 1 個 1 個 1 個 1 箱 1 箱 1 個	
10	除細動パッド P721	3 個	
11	ビートル L-150X	1 箱	

4 観察用資機材

No.	品 名	数 量	備 考
1	聴診器リットマン (クラシックⅢ)	2 個	
2	電子血圧計 エレマーノ 2 (腕帯 M・L)	1 式	
3	検眼ライト (LED 使用) 瞳孔ゲージ付	2 個	

4	非接触赤外線体温計 スマートサーモ FS-700W	1 個	
5	パルスオキシメーター パルスワンⅢPMP-135 小児用Ⅲモニタープローブ PDT-OP-PWJ074	1 式 1 個	
6	電子体温計 C206 低体温用	1 個	

5 搬送資機材・担架

No.	品 名	数 量	備 考
1	スクープストレッチャー65EXL ピン付 セット	1 式	
2	スクープエキスパンダーキット#65EXL シリーズ用	1 式	
3	ターポリン担架	3 式	
4	ハイテクバックボード2010 名入れ「京田辺井手救急」	1 台	
5	モデル 455 ヘッドイモビライザー	1 式	
6	モデル 436-IP プラスチックバックルタイプ	4 本	
7	クイックプライバシーシート V4	2 式	

6 創傷保護・固定用資機材

No.	品 名	数 量	備 考
1	SAM ターニケット MXT (オレンジ)	3 個	
2	サムスリングー 2	1 個	

7 その他処置用資機材

No.	品 名	数 量	備 考
1	膿盆 (中、小)	各 1 個	
2	お産セット タイプ S	2 個	
3	万能はさみ	2 個	
4	ロビンレスキューシザー	1 個	
5	マックス トラウマキットⅢ オレンジ	1 個	
6	EMS スタンダードウエストバック	3 個	
7	静脈確保 IV ケース WKIV	1 個	
8	ディアプレックス(DIAPLEX)感染防止衣(ジャケット・ズボン・防寒ライナーブルゾン)(ネームプリント入り、別途指示)	6 着	サイズは別途指示
9	ストレッチャーカバー (50 枚入り)	1 箱	
10	防刃防護衣 NT-EMT-01	3 着	
11	ERC バックパックポータブル	1 個	
12	モデル 5107 プロトラウマキット 3 ウェイタイプ	1 個	
13	ディスポ・レインカバー DRCV-10 (10 枚入)	1 袋	
14	LEDLENSER レッドレンザーP7 (LED ライト)	3 本	
15	オゾン発生装置 BT-03S	1 式	

16	オゾン発生装置 BT-088	1 式	
17	耐オゾンガスマスク（吸収缶含む）	4 式	